



遠藤奈津子 さん  
(蚕桑地区)

最初は  
電話も  
怖くて…

インタビュー よびごぞったなっすー

刺激があって楽しめる町に

**ご出身は**

大阪市福島区の下町です。大都会です(笑)

**白鷹町の第一印象は**

自然が豊かだなあ。スキーをしていたので、雪を楽しむみにして来ました。

**ご主人との馴れ初めは**

仙台の友人の結婚式で知り合い、嫁いで十六年になります。主人の家族が温かく迎えてくれました。

**環境が変わって大変だったことは**

寒さより方言を覚えるのが大変でした。電話も怖くて取れませんでした。

**最近白鷹弁を普通に聞けるようになったのは**

通って五年、話せるようになって二年というところですか。

**白鷹に来て驚いたことはありますか**

食べ物の美味しいことに驚きました。お米はもちろんです。野菜は新鮮で、特にきゅうりを生のまま味噌を付けて食べるのには驚かされました。

**行とかにもきゅうりやナスの漬物を持って行きますものね。**

**白鷹町に期待することは何ですか**

県外から来た私からしたら、山や川、地域の行事、たくさん降る雪でさえ魅力にあふれた町です。もともと白鷹町で生まれ育った人たちには当たり前のこと

も都会の人たちからすればわくわくするようなことだらけで子どもの頃から白鷹町のすばらしいところをたくさん発見してもらいたい。

**もらいたいです。**

そんなイベントが自然に婚活につながっていけば最高ですよね！

**最後に、議会に期待することは何ですか**

ん。次代を担う三十代、四十代の話をもっと聞く機会を設けてもらいたいですね。

若者の意見を取り入れて、一年中刺激があつて楽しめる町、活気のある笑顔あふれる町になるように頑張ってもらいたいです！



編集後記

議会も新しい議員構成により、スタートを切りました。

今は、日本中で地方創生のあり方が論じられています。真の創生とは、地方の自立であると思います。

それらに向かって、議会活動と町民の皆さまとのかけ橋となれるよう、工夫をこらして情報提供に努めるつもりです。

新しく、「議会なになぜ？」なども企画してみました。今後とも、議員の自主編集でわかりやすく、読みやすい議会だよりを目指します。のいろいろとアドバースをお願い申し上げます。(山田)

広報委員

- 委員長 山田 仁
- 副委員長・編集長 小口 尚司
- 委員 石川 重二
- 委員 佐々木 誠司
- 委員 笹原 俊一
- 印刷・梅津印刷

お手持ちのパソコンで議会中継をご覧いただけます。録画でもご覧いただけます。

議会だよりのご意見・ご感想などを議会事務局までお寄せください。